

どがなかな 大田市です

大田市ふるさと情報誌

VOL.47
2021.2

ふるさとの魅力、再発見



【関連記事 P2-3】

写真：邇邇姫神社（三瓶町）
に べ ひ め

令和2年度 大田市観光フォトコンテスト

『みんなの一撮部門』表彰式



大田市観光フォトコンテスト『みんなの一撮部門』

入賞作品決定!!

11月23日開催の表彰式にて。受賞者と市長との記念撮影の様子

受賞者インタビュー

最優秀賞 榎本 純 様「明け方のシンフォニー」

本フォトコンテストに応募してみようと思ったきっかけを教えてください。

大田市の会社の同僚が、自分が三瓶山周辺で写真を撮影していることを知っていて、大田市が写真コンテストを開催しているので、応募してみてもいいかと、応募用紙をもらったのがきっかけです。



撮影場所：浮布池

受賞が決定した時の率直な感想をお聞かせください。

一次審査で選ばれた作品が、どれも素晴らしい写真だったので、まさか自分が最優秀賞に選ばれるとは思っていませんでした。報告を頂いた時は、本当に自分の写真が!?!とびっくりしました。でも、素直に嬉しかったです。

受賞作品のテーマやこだわり、ポイントがあれば教えてください。

テーマとしては天の川を入れた風景写真を撮影したかったこと、こだわりとしては、鳥居を入れて撮影できたこと。また、ポイントとして、撮影場所の近くに街灯があったので、長時間露光することで、鳥居が浮き出るように撮影できたことです。

もし今大田市で写真を撮るとしたら、どこのだんな写真を撮ってみたいですか。

この時期ならではの、三瓶山周辺の雪景色や、雪の中の大森の町並み等を撮影してみたいです。

令和2年9月10日までに大田市で撮影された写真を対象とした、「大田市観光フォトコンテスト『みんなの一撮部門』」の入賞作品が決定しました!!ここでは最優秀賞1作品と優秀賞3作品、市長賞1作品、審査員特別賞1作品の計6作品を、受賞者インタビューと併せてご紹介します!!

そのほかの受賞作品も右記サイトにてご覧いただけます
(大田市公式 HP 内)





撮影場所：刺鹿神社

優秀賞 sakopiiii 様「夢幻桜」

受賞が決定した時の率直な感想をお聞かせください。

閉塞感のある日々の中で、このような賞がいただけることはとても嬉しかったです。大田で撮った写真を披露できる機会に恵まれたことに感謝しています。

受賞作品のテーマやこだわり、ポイントがあれば教えてください。

現実世界の非現実的な部分、幻想的な部分を表現できるよう撮影しました。あまり知られていないのではないかと場所を紹介したかったので、それを意識して場所も選びました。納得がいく写真が撮れるまで、何枚も撮影しました。



撮影場所：五十猛

優秀賞 nakaniko_55 様「山陰ブルー」

受賞が決定した時の率直な感想をお聞かせください。

HPで他の人の写真を拝見しました。正直私の写真は選ばれないと思っていたので連絡頂いた時は3回読み直しました。

受賞作品のテーマやこだわり、ポイントがあれば教えてください。

社会人になると同時に山陰へやってきました。

夏の海の青さは今でも感動します。

その海で何か撮れないかと思い青のラインの入ったJRとコラボさせました。



撮影場所：清滝

優秀賞 robert.caba 様「晩秋の清滝」

受賞が決定した時の率直な感想をお聞かせください。

正直なところ自信はありませんでした。このような賞をいただき驚くとともに大変光栄に思いました。大田市は近いのであちこちで撮影し、それが報われたようで嬉しく思います。

受賞作品のテーマやこだわり、ポイントがあれば教えてください。

清滝は1年を通じて色々な季節に来ました。大田市街からかなり奥まったところにあるため、あまり知られていないと思うのですが、紅葉の季節がとても美しく、良い時期に撮影することができました。



撮影場所：大森の町並み

市長賞 渡辺洋平 様「世界遺産の子供達」

受賞が決定した時の率直な感想をお聞かせください。

子どもの成長記録になればと思い始めた写真で賞をいただけたのは素直に嬉しかったです。受賞のご連絡をいただいた時に家族の前では平常心を装っていましたが、内心すごく興奮していました。

受賞作品のテーマやこだわり、ポイントがあれば教えてください。

今世界遺産の大森町は若い世代の家族が増えています。そしてその家族の子どもたちが遊んで走り回る賑やかな町になっています。そこで大森町に住む子どもたちと世界遺産の情緒ある風景を知っていただきたく、そのふたつをテーマに写真を撮りました。



撮影場所：浮布池

審査員特別賞 k.selevled 様「春うらら」

受賞が決定した時の率直な感想をお聞かせください。

たくさんの応募作品の中から選んでいただけたこと、非常に嬉しく思っております。今後もふるさと大田市の素敵なお場所を見つけて、写真におさめたいと思います。

受賞作品のテーマやこだわり、ポイントがあれば教えてください。

写真に関する知識もなく、カメラなどの機材にはまったくこだわらずに日常生活の合間で目の前にある自分でいいなと思ったものを、ひたすら撮影することを心掛けています。受賞作品も何気なく訪れた浮布池で、たまたま車に積んでいたカメラで撮影しました。

馬路地区特集

仁摩町馬路地区では、交流人口の拡大を目指して、地域おこし協力隊とともに様々な活動を行っています。琴ヶ浜を中心とした「馬路」の魅力をご紹介します。

馬路地区の名所

「琴ヶ浜」



▲ぜひ、素足でキュツ。キュツ。と鳴る砂浜を体感してください。

弓なりに広がる白砂の浜、日本の三大鳴り砂の1つ馬路琴ヶ浜は、平成29年に『国の天然記念物』に指定され、令和2年に『日本遺産』にも認定されました。約2キロメートルにわたる浜全域で砂が鳴るのは全国でも稀で『日本の渚百選』『日本の音風景・百選』にも選ばれています。琴ヶ浜では、地域イベントや体験型アクティビティも楽しめますよ！

地域イベント

馬路地区では、琴ヶ浜の上で、5月には町民運動会、夏には盆踊りを開催しています。

10月には、乙見神社の例大祭に合わせて高さ3メートルを超す大足半を山車に乗せて町内を巡行します。



サップ体験

水面からわずか15センチ上に立つ感覚が味わえるサップ体験を開催しています。

初心者の方大歓迎です。個人差はありますが、体験開始後30分で立つことができます。

ボードの上で、肩の力を抜き、海との一体感を味わい、透明度が高い水中を見れば魚の群れが出迎えてくれますよ。

泳げなくても、ライフジャケットを着用しますので安心です。

昨年からは、サンセット・サップも始めました。日本海に沈む真っ赤な夕陽をバックにサップを楽しみ、素敵なお出ではいかがですか。



遊覧船体験

琴ヶ浜の西端のトンネルを抜けると、世界遺産の一部であり、戦国時代に銀鉱石を積み出した「鞆ヶ浦」があります。この港を発着場として遊覧船体験ができます。

日本海の荒波や風により浸食した奇岩を紹介しながら洞窟を巡り、石見銀山の銀鉱石を積み出し、数年での役目を終えた幻の港、「古龍」を目指す古龍コース。運が良ければイルカと出会えます。



◀ 洞窟の中にある古龍神社の御神体(明神さん)

小さな船で洞窟を巡ります

もう一方は、韓島神社へ向かう韓島コース。こちらのコースでは、海中に沈んだ珪化木を船上から御覧いただけます。遊覧船体験では、今シーズンから定員10名のレジャー船が導入されます。

それに伴い、バナナボートが始まる予定です。

馬路に来れば何かが始まる、体験できる。一度、馬路へ来てみませんか。



地域に密着した高校生の取り組み

大田高校

大田高校では、毎年2年生が総合的な探究の時間に「地域探究学習」という授業を行っています。地域をフィールドに、テーマごとに自ら課題を見つけ、自分たちができる解決策をプロジェクトにしていく学習です。今年度は「子育て」「多文化共生」「地域づくり」「教育」「観光」の5つのテーマから興味のあるものを選び、チームで取り組みました。

生徒のプロジェクト活動の一部を紹介します！

地域づくり【空き家PRプロジェクト】

地域の方に話を聞く中で、少子高齢化の中、空き家が増え、管理に困っている人が多いという地域の現状を知りました。そこから「どうすれば空き家の数を減らせるのか」という課題を設定し、実際に空き家を見て、空き家の存在を知ってもらうことを目指したPR動画を作成しました。



こちらのQRコードから動画を見ることができます▶

子育て【お兄さんとお姉さんと一緒に！】

このコロナ禍の中、普段以上に「子どもたちが遊べる場所が少ない」という課題を感じ、「イベントを自分たちで開く」を目標に、一から企画を考え、役割分担をして進めていきました。当日は12組の親子がイベントに参加。会場にはたくさんの笑顔が生まれました。「企画・運営の大変さを知ったが、皆さんの喜んだ顔がみられて、嬉しかった。」と生徒が充実した顔つきで話してくれました。



ほかにも「駅前の活性化」「大田のお土産を作ろう」など様々なプロジェクトが生まれました。地域の方に協力いただいた生徒も多くいました。学校の外に飛び出し、様々な方と出会いつながることで、大田の良さを感じた時間にもなったのではないのでしょうか。日々学校で学んでいることを生かし、高校生のパワーを地域で発揮できる機会となりました。

邇摩高校

【道の駅メニュー開発提案】



道の駅推進室の職員に試食してもらい、アドバイスをもらう生徒。

邇摩高校では、3年生になると「課題研究」の授業があり、各系列で個人、またはグループごとに、テーマ・仮説を立て、実践・検証していきます。

例えば、農業系列では、あるグループが仁摩サンドミュージアムにかけた「さんみ

また、ビジネス系列では、先輩から引き継いでアナゴを使つたおにぎり開発研究を進めたグループもあれば、インスタグラムで地元の魅力を発信していたところ、それが県内のクリエイターの方の目にとまり、ミュージックビデオへの出演機会をいただいたグループもあります。

このように生徒は研究を進めるだけでなく、地域との関わりから新たな発見や体験の機会を得ることができました。このような活動を通して、今年度卒業生は就職内定者の9割以上が地元に残り、将来は地元を支える人材となります。

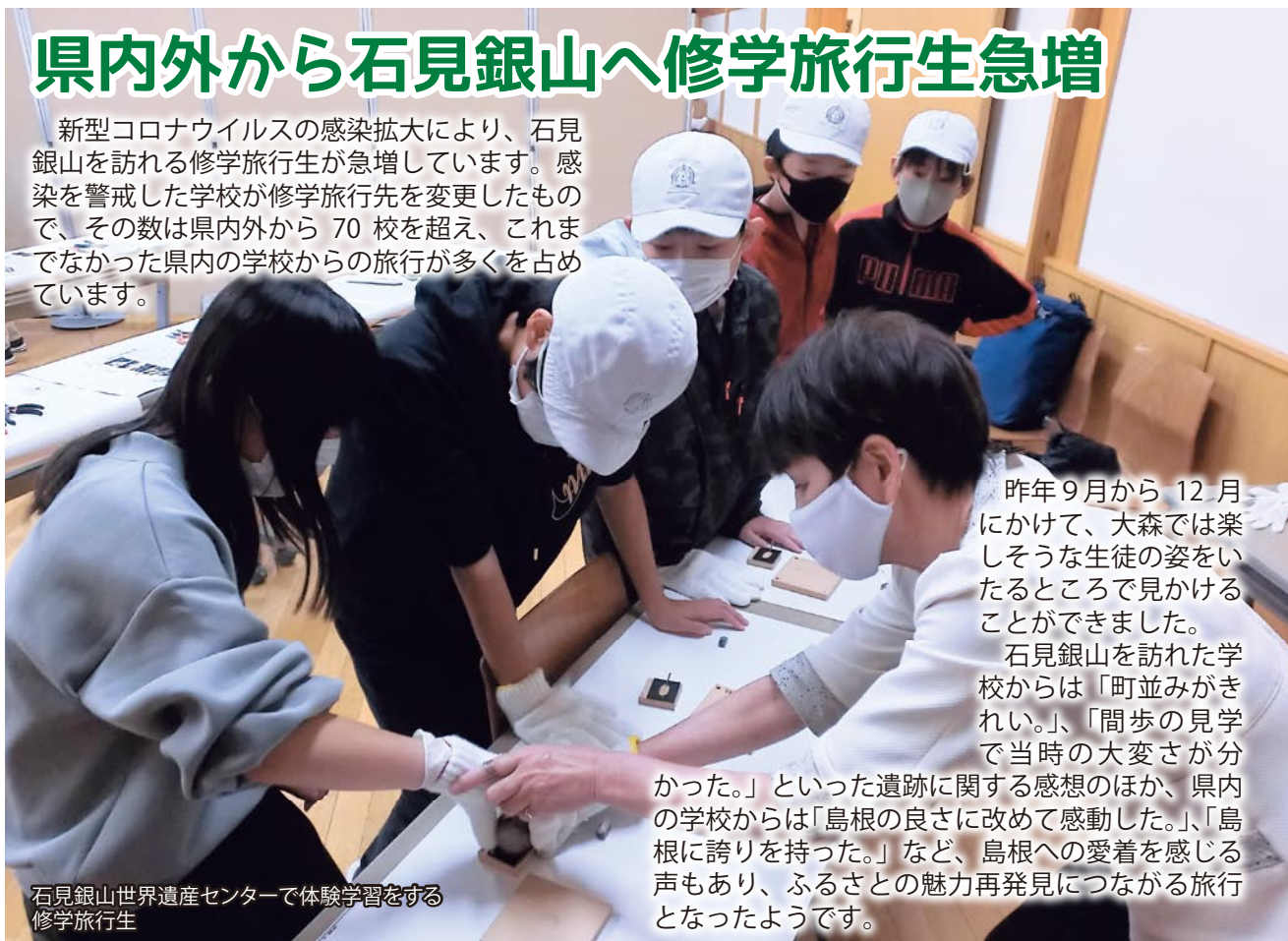
日々の活動や取り組みについては、ホームページやフェイスブックをご覧ください。



邇摩高校 HP

県内外から石見銀山へ修学旅行生急増

新型コロナウイルスの感染拡大により、石見銀山を訪れる修学旅行生が急増しています。感染を警戒した学校が修学旅行先を変更したもので、その数は県内外から 70 校を超え、これまでなかった県内の学校からの旅行が多くを占めています。



石見銀山世界遺産センターで体験学習をする修学旅行生

昨年9月から12月にかけて、大森では楽しそうな生徒の姿をいたるところで見かけることができました。

石見銀山を訪れた学校からは「町並みがきれい。」「間歩の見学で当時の大変さが分かった。」といった遺跡に関する感想のほか、県内の学校からは「島根の良さに改めて感動した。」「島根に誇りを持った。」など、島根への愛着を感じる声もあり、ふるさとの魅力再発見につながる旅行となったようです。

大田の味が、東京に進出！ ぜひご賞味あれ！！

昨年10月に、歌舞伎座サービス(株)と大田商工会議所は商品開発や販路拡大についての提携を結びました。

歌舞伎座で大田市フェア

これにより、12月には歌舞伎座で大田市フェアが開催され、水産加工品やお酒などの製品が販売されるとともに、幕の内弁当で大田の大あなご、飲食コーナーで三瓶そばが提供されました。

地元では歌舞伎座用の商品開発が進んでおり、今後、大田市産品が歌舞伎座に常設される予定です。

ぜひ、歌舞伎座にお立ち寄りください！



地下2階の木挽町広場での大田市フェアの様子

三瓶バーガーのお店が下北沢にオープン



店長の谷回さんは、事前に三瓶でしっかり研修されたそうです！

昨年8月に、三瓶バーガー・トキョー下北沢店がオープンしました。

三瓶山の形のオリジナルごまパンズをはじめとした原材料は、大田からの直送。パテは香ばしくなるよう炭火焼きするなど、味も三瓶の本店そのままです。

三瓶産わさびを使った、「わさびバーガー」は、東京でも大人気だそうですよ！

ぜひ、おしゃれな街、下北沢で、三瓶バーガーにかぶりつけてください！

シリーズ 石見銀山 ④7 発掘調査速報

石見銀山遺跡では、遺跡の価値の確認と保存活用を大きな目的として、発掘調査を継続しています。今年度は、「大谷地区」の発掘調査を実施しました。調査地が公開坑道の1つである龍源寺間歩の近くであったため、ガイドさんや修学旅行・観光で銀山を訪れたたくさんの方の興味を持っていただきました。

さて、今年度の発掘調査では、次のことが明らかとなりました。

①戦国時代末から江戸時代初期とみられる、地表に出ている鉱脈を掘り取る「露頭掘り」や、鉱脈をその形のまま追いかけて採掘した「ひ追い」による銀の採掘痕が残っていたことから、大谷が石見銀山の中でも古くから利用されていたことが明らかとなりました。

②岩盤を削って平坦にした段には、丸い穴や、水路などが掘り込まれていました。また、選鉱で排出される「ユリカス」と呼ばれる砂粒も残っていました。

③間歩の前には、建物の礎石とみられる石が確認されました。その近くには熱を受けた後もあることから、製錬に関する施設があったと考えられます。この建物は、江戸時代中期以降に利用されていたと考えられます。

大田市は、ユネスコの「平和と人権尊重」の精神に基づき、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の保全と活用をすすめています。

【お問い合わせ先】
大田市教育委員会石見銀山課
☎0854-1831-8134



現地見学会の様子

このように、発掘調査によって、これまで石見銀山では不明な点が多かった江戸時代中後期の、採掘から製錬の一連の工程を示す資料が見つかったことは、今後の調査・研究を進める上で大きな成果といえます。

また、12月19日に実施した現地見学会では、多くの方にご参加いただきました。これからも遺跡の調査を進め、状況を随時公開してまいります。世界遺産石見銀山遺跡での新たな発見にご期待ください。

ふるさと納税で 山村留学を 応援できます！

大田市
山村留学センター
SANBEKODAMA ACADEMY

昨年7月、大田市ふるさと納税の応援先に山村留学が加わりました！

大田市の山村留学は、市内外の子どもたちが三瓶山北ろくの北三瓶地区を中心とした魅力ある山・里・海の自然と中山間地の文化や生活を体験するプログラムです。

また、ふるさと納税の返礼品にはおいしいものがたくさん！ 錦織圭さんも大好物のノドグロや大田市が全国有数の漁獲量を誇るアナゴをはじめとした日本海の新鮮な魚などなど。

ぜひ山村留学と大田市の応援をお願いします！

■大田市山村留学センター

フェイスブック <https://www.facebook.com/sanbekodama/>
ホームページ <https://sanbekodama.tumblr.com/>

■ふるさと納税

ホームページ https://www.city.ohda.lg.jp/ohda_city/city_organization/25b/28/1164/3011

山村留学センター HP



ふるさと納税HP





「集落支援員」って なんだろう？



集落支援員の殿山裕子さん

全国で350以上の自治体が設置している「集落支援員」について、皆さんはご存知ですか？
昨年12月から井田地区で集落支援員として活動している殿山裕子さんにお話を伺いました。

■ 集落支援員の仕事を教えてください。

地域の目配りとして、地域の状況把握、地域点検、住民同士・住民と市の話し合いの実施など、地域の皆さんが住んでいる地域の課題解決に取り組むための支援をします。「井田地域自治会」が地域運営組織化されましたので、その活動支援をしています。

■ 集落支援員になったきっかけは？

移住してから目に見えて過疎化が進み、気になっていました。この度、自治会から推薦をいただき、少しでも活性化する力になればと思い志望しました。地域の魅力を、まずは地域の皆さんから再認識してもらうように情報を発信していきたいです。

■ 井田地区ではどういった活動をされていますか？

現在地域の方々と一緒にまちづくりの土台となる「井田地域ビジョン」を策定しています。

その一環として、地域の食材を使った食品の商品化や、継続可能な素材を使った特産品の開発、地域の魅力・見どころを“見える化”しているところです。井田にも魅力的



な場所や伝承がたくさんあるんですよ。「井田いきいきプロジェクト」で、Instagramを始めました！フォローをお願いします。

井田
いきいき
プロジェクト
Instagram



■ どんな特産品を開発しているんですか？

昨年何回もワークショップを開催し、地域の皆さんと特産品を模索してきました。たくさんのアイデアの中から、第1弾として「焼肉のたれ」を開発しています。現在は、もう少しで商品化という段階にまでなりました。



地域の食材で調理され本当に美味しいので、商品化されたら、ぜひご賞味下さいね！



■ 今後の活動目標を教えてください。

単身でお住まいの方や、困り事を抱えている方などのサポートや、状況の把握ができるように地域の見回りを始めようと考えています。

特産品の開発や、井田に移住される方の住居を探しておきたいですね。

観光客も来ていただけるように、地域の魅力・見どころもリスト化して、できればツアーを開催したいです。



おおだ空き家情報

令和3年2月1日 現在

貸したい！
売りたい！
空き家随時募集中！

空き家情報はおおだの定住PRサイト『どがどが』でご覧いただくことができます。
大田市役所まちづくり定住課 ☎0854-83-8029 にご相談ください。



波根町 売買：200万円

波根の旧国道より少し入った場所にある木造一部2階建ての物件です。外壁の塗り替え、トイレの水洗化等をお勧めします。

【物件番号：120053】



山口町 売買：950万円
賃貸：5万円（月額）

山口町の北側に位置する築8年の建物で、賃貸と売買に対応します。土砂災害警戒区域です。

【物件番号：140033】

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行／大田市役所政策企画部まちづくり定住課 ☎0854-83-8029 FAX：0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail：o-tiiki@city.ohda.lg.jp

おおだの定住PRサイト「どがどが」 <https://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが

検索

大田市公式 LINE は
こちらから ▶

